

2021年度

専修学校による地域産業中核的人材養成事業

「学びのセーフティーネット機能の充実強化」

～高等専修学校生が社会に定着するための教育現場の最適化とICT活用による学びの創出事業～

実施報告



学校法人豊野学園 豊野高等専修学校

高等専修学校生が社会に定着するための教育現場の最適化とICT活用による学びの創出事業

1) 事業の趣旨・目的

本校は何らかの困難さを抱える生徒が全校数の82%と多く多様な個性を持つ生徒が在籍しており「学びのセーフティネット」が大きな役割を担っている。これまで中学からスムーズに移行できる体制づくりや、地域の外部団体・企業と連携した仕組みを構築してきた実績をもとに、校内外の更なるシステムを更に広げ定着させる必要がある。

変化の大きい時代に教職員の指導の在り方や学校運営を時代に即したものに变化させていき、生徒にとって安心・安全な学びの場を提供していく必要がある。そのために地域社会と連携したネットワークシステムを構築し「学びのセーフティネット機能」の充実と強化を図り、生徒の経済的自立と社会的自立の実現を目的とする。

1つ目は生徒にとって安心・安全な学校づくりと職場環境改善を行う。2つ目は専門分野の業界が求めるカリキュラム構成が出来ているのか、社会の実態調査に基づき再構築する。3つ目はICTを活用し誰もが相談しやすくみんなで支える仕組みをLINEで構築し他校への普及を目指す。4つ目はLINEで卒業生とつながることにより職業定着につながる取り組みを行う。5つ目は連携する市町と双方のメリットとなる取り組みの計画と実施をめざす。

2) 学習ターゲット・目指すべき成果

【学習ターゲット】

発達障がいのある生徒や不登校など支援が必要な生徒及び中退者

【目指すべき成果】

- ・自己の可能性を発見し進路を自己決定できる生徒になる。
- ・企業が求める学びと校内環境を外部と連携した整備をし社会に定着できる生徒の人財養成機関となる



3) 事業が必要な背景 ②概要

成果

企業連携

特別授業・講座
専門分野の学び

進路を意識できるきっかけ創出

発展

企画
製作販売

中学との連携

生徒の理解が深まった

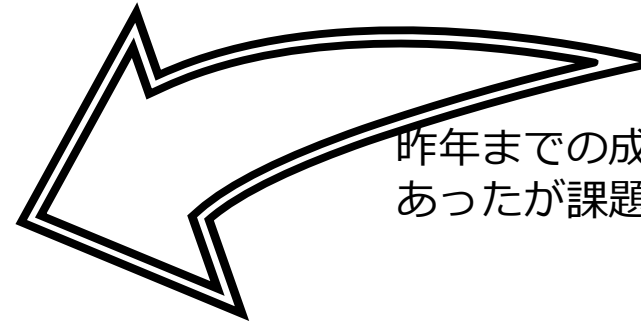
地域・自治体連携

経験値の向上と進路のつながり

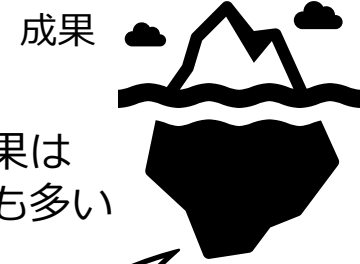
医療・福祉連携

ひとりで悩まない
ネットワーク

教育相談システムの構築

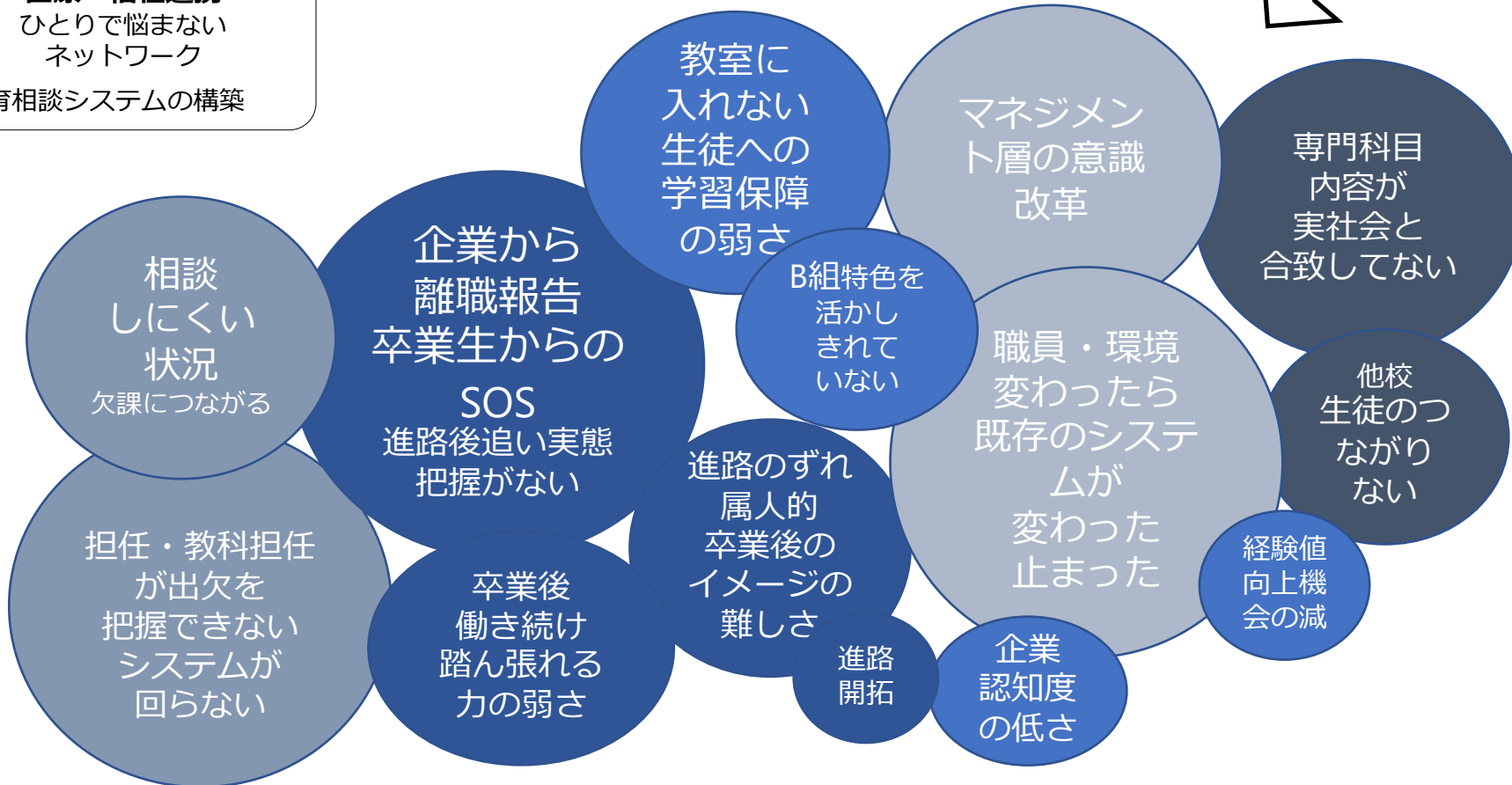


昨年までの成果は
あったが課題も多い



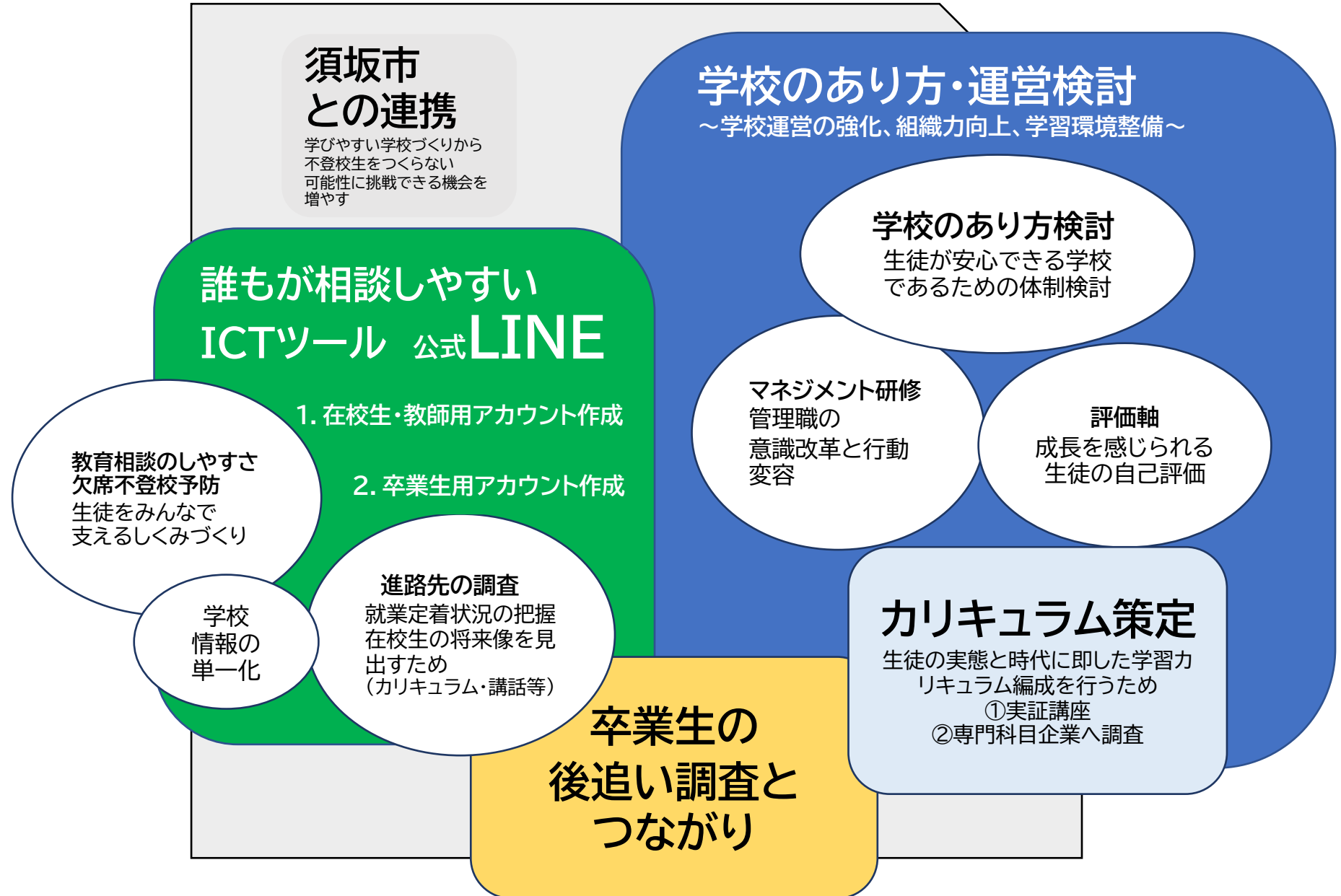
冰山モデル

課題



5) 事業の内容

取り組みと その目的



学校のあり方・運営の検討 A

(1)学校のあり方検討

(2)マネジメント研修

(3)自己成長が感じられる評価軸の作成



1) 学校のあり方の検討 ～職場環境等、調査～

職場環境に関わる アンケート

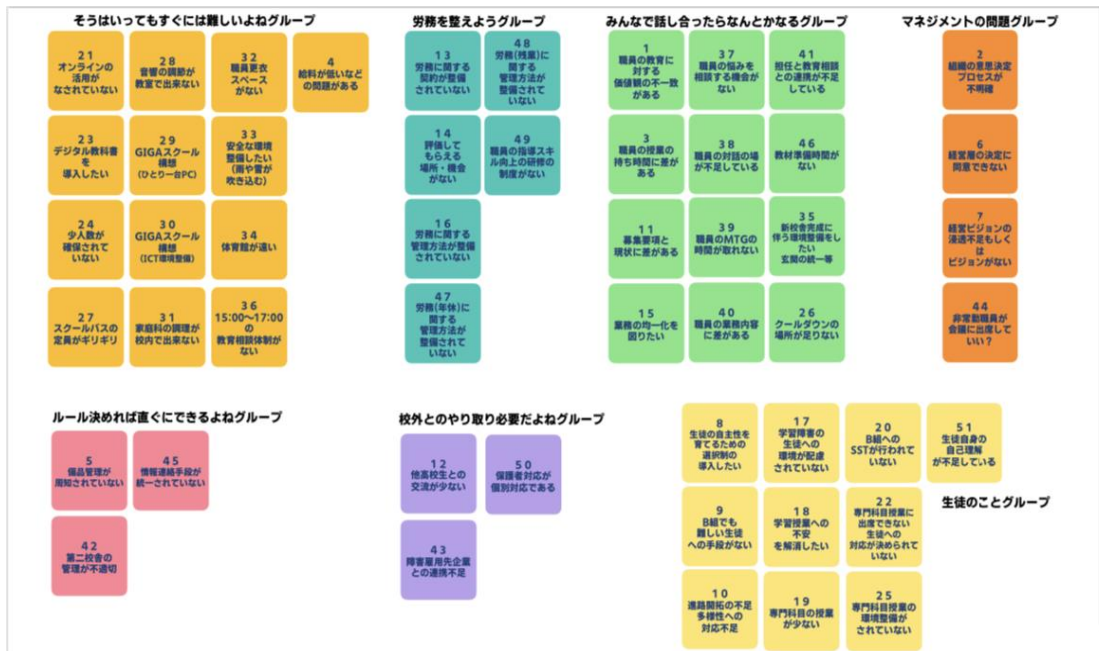
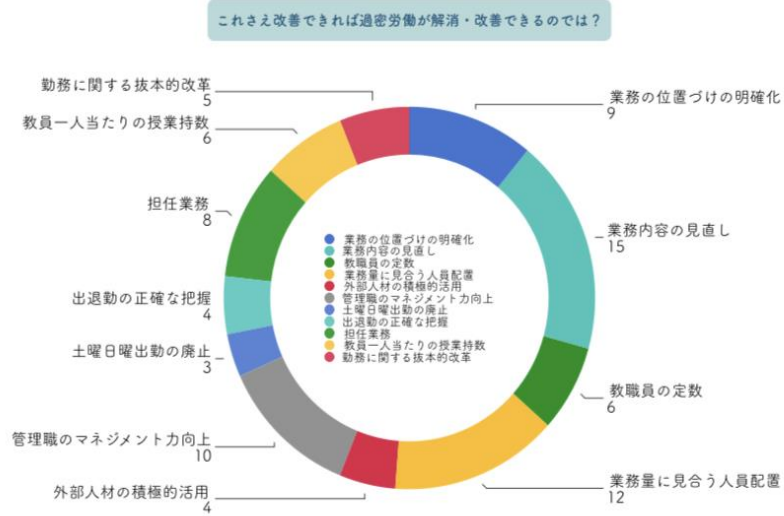
- 【アンケート項目概要】
- 1) 大切にしたいと考える業務
 - 2) 削減したい業務
 - 3) 外部対応での改善希望業務
 - 4) 労務管理
 - 5) 労働・業務の環境を改善するための行動
 - 6) ハラスメント

先生方の 困り感や課題

- 【困り感や課題としてグループに分かれ付箋に書き出した】
- 1) 51項目の困り感、課題が表出
 - 2) 生徒に関すること、学校運営に関すること、双方に関係することの3つに分類
 - 3) 着手可能なこと、しにくいことお金がかかる困難を分類
(以下図)
- 物理的困難課題は管理職の共通認識

「生徒が安心できる学校であるための調査」として
まず全職員に職場環境調査を実施した
以下、アンケート5)のみ抜粋
○業務量に見合う人員配置
○管理職のマネジメント力向上を要望する声が多かった⇒**マネジメント研修を実施**

- 1) 即着手は困難 2) 労務検討 3) 協議で解決可能 4) マネジメント層への課題
5) ルール設定 6) 校外の連携課題 7) 生徒対応課題 に分類



1)学校のあり方・運営の検討 ～『学校運営・体制の変革』のための行動～

①職員会議のありかたを変革

○職員会議の体系を職員室(個人デスク)から円形に変更、聴く・考える」環境に変更し意見を出しやすく、反映しやすく工夫した

○会議の目的とゴールを明確にする

○マネジメント研修で実践したこと、戦略チームで検討したことは朝会、職員会議で下ろす

【職員会議のルール】

- 1)メモは取らない(話している人の目を見る、会議に参加する姿勢をとる)
- 2)席は自由
- 3)開始時間の着席の厳守(遅刻の際は開始前までに副校長に伝え承認を得る)
- 4)話は最後まで聴き、決して遮らない

②校長室の廃止(職員室に常駐)

③マネジメント層の研修を毎月実施

④職員への「生き生きやりがい職場環境調査」の実施



職員会議の様子



調査のQRコードを読み取りし回答、講師集計、フィードバック実施(2回)

「生き生きやりがい職場環境調査内容」

調査方法:WEBでの質問紙調査を実施

(常勤16名、非常勤36名計52名、うち回答数25名)

協力「長野県教育委員会事務局 義務教育課」

講師(調査者代表) 信州大学教職支援センター荒井英治郎研究室

1. 目的

本調査は教職員の仕事に関する意識や働きがい(ワーク・エンゲイジメント)などに視点を当てた質問に答えていただくことで、現在所属の組織の「現在」を理解し「これから」を考える素材を提供する一助としていただくことを目的としています。

2. 概要 先生方の仕事に関する意識や働きがい(ワーク・エンゲイジメント)をお伺いします。

- ① 属性(年齢・性別)
- ② 働きがい(ワーク・エンゲイジメント)
- ③ 仕事に関する意識(職場環境・上司からのサポート・組織風土)
- ④ 個人の状態(心身の健康・満足度)

3. 個人情報の取り扱い

○回答は無記名です。全て統計的に処理するため、回答者が特定されることはありません。

○分析結果は、先生方の仕事に関する意識や働きがい(ワーク・エンゲイジメント)の現状を把握し、職務改善への示唆を得ることに活用するほか、学会・論文にて発表することを予定しております。その際、個人が特定されないことを保証します。

○分析結果は、以上の目的以外では使用致しません。

ご了承いただけるようであれば、下記 QR コードからご回答をよろしくお願いいたします

1) 学校のあり方・運営の検討 ～『学校運営・体制の変革』のための研修(ワーク)～

指摘



座長
荒井先生

「価値観のばらつき」は当たり前
にあることを理解してもらうため
どこから着手しますか？
重点目標は何ですか？
情報の下ろし方はどうですか？
ルールは明確ですか？

- ・判断が必要な場面は、ルールをつくること
- ・目的を整備しましょう
- ・見直しは必要です
- ・アンケート後は視える化して直ぐフィードバックを！
- ・価値観の合意形成を目指すには対話でルールづくり
- ・決定事項（意思決定）のプロセスを明確にしましょう
- ・職場の相互理解を高めるためにはトップダウンではなく対話で創り上げていくこと！

【職員アンケート結果共有で意見交換】
「課題解決への取り掛かりに関してスピー
ディーさが必要だった」
「課題提案の声は貴重な声と捉えたい」
「結果とグルーピングからどう手を付けてい
けばよいのか」
「設備上の困難さへの課題の多さ」

【次なる課題】
誰が何から取り掛かるのか
意思決定
次年度も「ワークエンゲージメ
ント」
追跡調査の実施に期待
意思決定の明確さ

対話で
作り上げ
ていこう

結果の視える化
と
共有

今年度中に
職員へ
成功体験を！

職員の声を
丁寧に扱う姿勢
の大切さ

効果性と
手軽さから
着手してみては



2)生徒が安心できる学校であるためのマネジメント研修



第4回マネジメント研修の様子(4人の息をあわせる)



マネジメント研修を事業評価委員と職員に公開

スタート時から「この学園を改革する！」という意思に溢れ、積極的に自分たちの課題や問題を持ち出すことで、根本的な課題解決に向けて進む姿が頼もしいです。回を重ねるごとに幹部がそれぞれに要求し合える関係になってきています。

研修請負

パスクリエイト志村氏



受講当初は1.5hという時間は長く負担感もあった。しかし回を重ねていくうちにあっといふ間、もう少し続けたい、という感覚に変化していた。

その理由は自分をさらけ出せる場であり、安心して自身の悪い面も良い面も出せると感じたかもしれない。

・幹部から「変わろう」としている学校はあるのか？外部も入れ自己改革しようとしている学校であると感じた。

・深刻さがなく「承認し合う関係」は自己開示ができる関係性であり、相互的な信頼で成り立つもの。組織としてとても大切な部分。

・大きな学びにもなったのは「目的意識」を常に意識し、共通のゴールをめざすことを意識していたことである。



副校長
奥田孝志

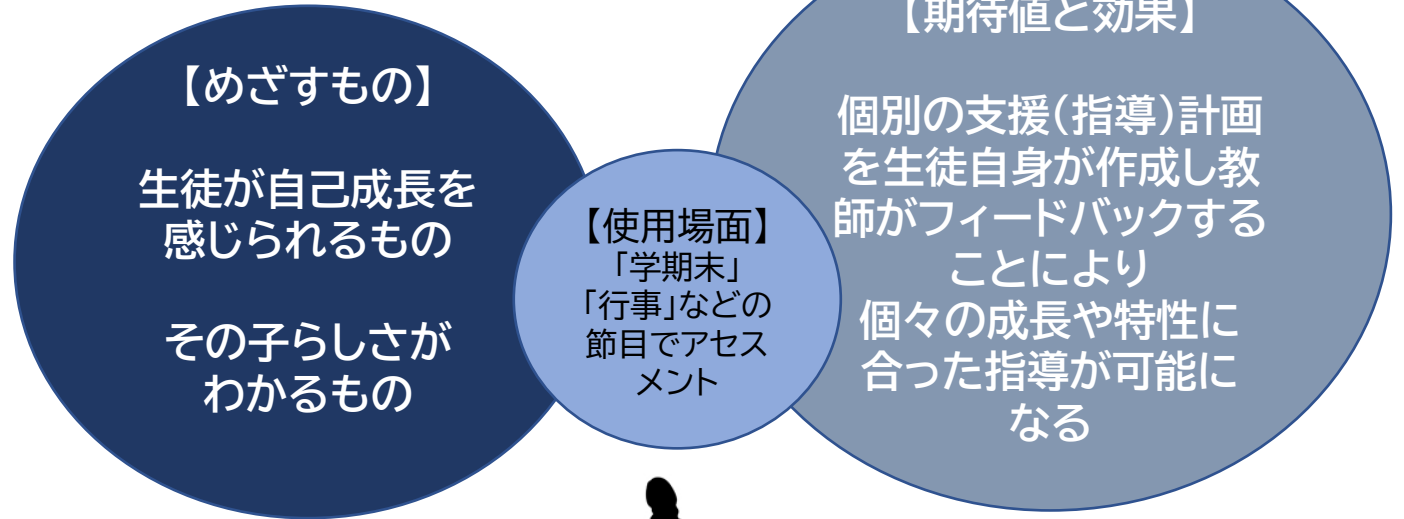
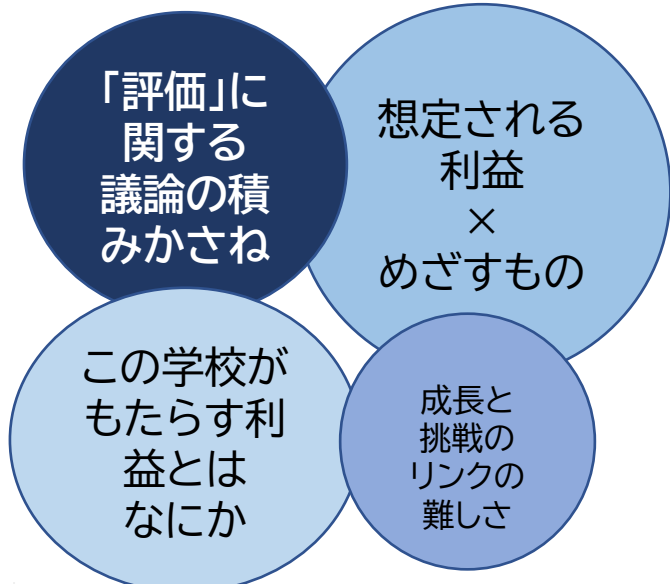
評価委員

春蘭の宿さかえや
代表 湯本晴彦氏



3)自己成長が感じられる評価軸の作成

※学校評価は学校と生徒全体の傾向を比較するもの
 ※既存のものとは別で考える



構成要素①	設問	ねらい	選択肢
自信を持つ	安全欲求 1年前の自分と比べて、自分は変わったと思いますか？またそのきっかけは何ですか？	自分で自分をどう思うか？	そう思う / どちらかと言うとそう思う / 変わらない
	所属欲求 1年前の自分と比べて、自分に自信をもつことができたと思いますか？またそのきっかけは何ですか？	他者との関わりにおいて自信をもてたか？	そう思う / どちらかと言うとそう思う / 変わらない
第一検討案	承認欲求 1年前の自分と比べて、自分は成長できたと思いますか？またそのきっかけは何ですか？	自分を認めたい / 他者と比べて、みたいな観点になりそう	そう思う / どちらかと言うとそう思う / 変わらない
	自己実現 1年前の自分と比べて、新しいことにチャレンジ出来るようになったと思いますか？またそのきっかけは何ですか？	自信をもったら、自分の能力を発揮する	そう思う / どちらかと言うとそう思う / 変わらない

【経過】

第一検討案の制作 : 生徒が成長感じやすく記入しやすい選択肢があり可視化できるもの

校内検証: 「第一案」は判断のしにくさがある、連動の困難さ等様々な指摘

再検証 → より生徒主体性あり振り返られるもの → 「高等学校キャリアパス」が該当か

再々検証: キャリアパス「中学からの連動性」の難、「リスタート」を願う生徒…使いづらさ

学校のあり方・運営の検討 B

カリキュラム検討として
専門科目コースの実証講座



【生活情報コース】 専門科目業界の特別講師による実証講座

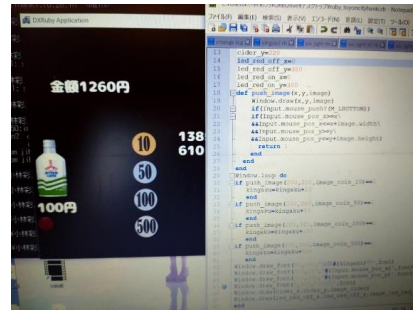


【グループ学習】

グループでコミュニケーションが取れるようカードゲームなど交流深め、お互いに支え合える体制を作りました

【工夫①】

企業の方が講師であるため机上に名札設置し指示を出し交流しやすくした



【カリキュラム検討に関するヒヤリング】

- 少人数ではない教室の環境に課題
- 生徒同士で教え合う学び方の効果性
- 3年でプログラミングを実践するよりプログラミングの基礎知識
- 反復練習や復習は効果性がある
- 目指したい進学先の学校と交流
 - テキストをラズベリーパイへ変更
 - 授業で企業見学実施



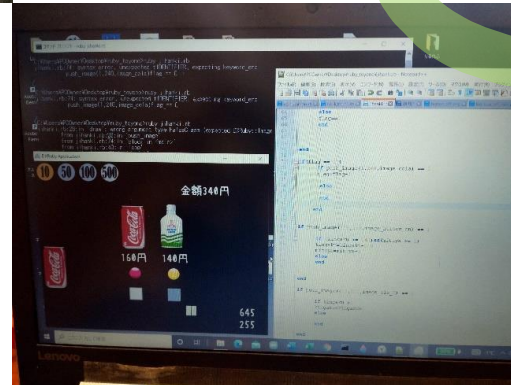
$f(x)$

【工夫②】

大きめのホワイトボードを設置し、ポイントや課題など抑えて欲しい重要なことを掲示し共通理解を図った

【工夫③】

タイピングを授業開始前に実施し基本的なキーボード操作に慣れ親しむ



【ファッションショー講師による実証講座の企画】

- 最大の発表の機会となっている「ファッションショー」で美しい姿勢、魅せ方、立ち振る舞いを学ぶ
- 作品の魅せかたを学ぶ
- 表現の基礎を学ぶ

▼
コロナ禍により中止



カリキュラム検討するうえで現状を
専門科目教員で検討



1)進路の実態

- ・洋裁や和裁に関係する業界へ進路希望者の少なさ

2)想定するカリキュラム課題について

- ・作品完成のゴールが校内ファッションショー、デザインフェスタになっている
- ・戦力者としてのスキルの難しさ

3)本校が維持したい技術水準

- ・縫製の基礎(基礎縫い、ミシン縫い、製図理解)
- ・ショー体験を通して表現力・発信力・継続力を高める

4)必要な判断の基準の明確化

- ・「技術のレベル」や「制作物」

5)学校の伝統と生徒の実態と業界ニーズ(調査結果)とのバランス

【生活美術コース】 専門科目業界の特別講師による実証講座

VR 体験授業



特別な VR 機材を
使わせていただきました。
夜空の広い空間に、立体的に
絵を描く体験をしています。

海外の美術館に置いてある作品を、
鑑賞する体験をしています。
実際に美術館に行って作品を
見るように、彫刻作品の裏側や、
有名な絵画のサインに至るまで、
隅々まで鑑賞することができました。



ヒアリング後、
授業をご見学いただき、
作品にアドバイスなどを
いただきました。



伊藤 深志 先生 (岡学園トータルデザインアカデミー) にかがいました！

●高校生の時に、身に着けておきたいスキルや、体験しておくべきことはありますか？

よりよい発想や表現をするためには、様々な作品を鑑賞し、多くの素材に触れておくことが大切です。簡単に消すことができるデジタルだけの制作ではなく、実際に自分の手や道具を使い、試行錯誤して表現を模索することもたくさん経験しましょう。そのことをふまえた上で、以下の提案をします。

- ①**作品鑑賞**：美術館などに行き、よい作品をたくさん鑑賞することが大切です。
- ②**デッサン力**：対象を自分の手でデッサンする練習は、何にでも通用する力となります。
- ③**パソコンスキル**：オフィスソフトは課題提出や就職の際にも必要になるため、習得しておけるといいですね。タブレットだけでなく、キーボードを打つ練習も大切です。



●今後のカリキュラムに関するアドバイス

- ①**様々な企業を見学**してみるのはいかがでしょうか！
市内には印刷会社や段ボールを扱う会社などが多数あります。実際の素材に触れ、デザインが商品になる流れを知る勉強にもなります。その後、商品のパッケージデザインや段ボールアートの授業などに生かしてもいいですね。
- ②**プレゼンテーション型の授業**は、慣れておいた方がいいでしょう。完成した作品を自身の言葉で発表することで、自信にも繋がります。グループ展などで学校外の人に作品を見てもらうことも、よい経験になりますね。



ポイントは

1)グラフィック
デザイン学習

2)企業の見学

3)プレゼンテー
ション形態授業

4)専門学校との
連携授業

5)学習教材(PC
と書籍)の整備

【生活介護コース】 介護業界の特別講師による実証講座

介護福祉の実務・経営実績者を迎え実証講座を行いカリキュラムの協働検討を行った

きいろ:講師の声、みどり:生徒の声、青:課題



カリキュラムに反映させるのであれば資格をもって施術することへの「姿勢」をどう育成していくか

デイサービスでも人気が高かったサービス需要の高さがありできる知っていることで職場で必要な人財にもつながる



改善や予防に役立つ施術

施術に関する効果は相手の健康観察が「手」を通して分かること
～むくみの防止、皮膚観察など含む～

講座前の復習が重要

オンライン講座の難しさ

生徒の理解や習熟度の把握

対ヒトへの抵抗ある生徒

施術効果を肌で感じ家族や友人に実践したら喜ばれた

興味関心の高さ

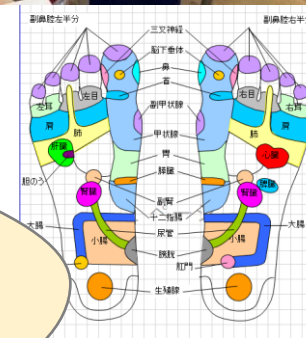
自分の不調に気が付くことができた!

実践を重ねて腑に落ちた役立つことが学べてよかった嬉しい

コミュニケーション課題があってもスキルを重視できる

介護担当者より

実際に介護コースにどう取り入れられるか生徒に調査したところ
受講生全員が「やりたい」と回答「この知識を得ることが良かった」と感じた結果になった



2. 誰もが相談しやすく

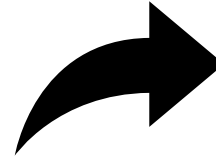
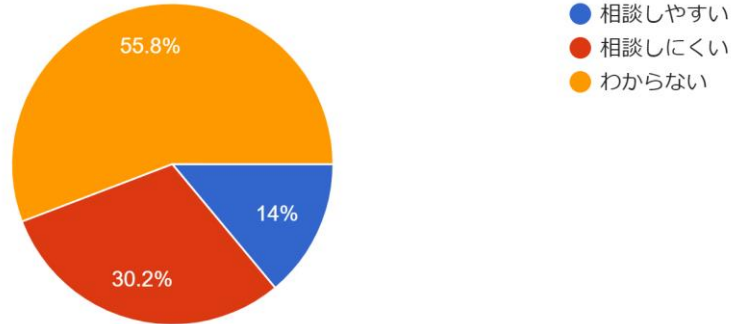
学校で支える仕組みの検討



2. 誰もが相談しやすく学校で支える仕組みの検討 相談に関する生徒へのオンラインアンケート①

【その理由】

現在の相談申し込み（紙に書いて担任or教育相談...ーター）はあなたにとって相談しやすいものですか
43件の回答



- ・【教育相談の申し込みの際に困ったこと、不安に思ったこと】
- ・どの部屋を（相談）で使うのか分からない
- ・すぐ相談できる方がスッキリする
- ・紙だとすぐ相談できずモヤモヤすることがある
- ・紙だと相談したい時にすぐ相談できないことがある
- ・先生に言いづらい
- ・相談の先生がいつ空いているか分からない
- ・誰に相談したらいいか分からない
- ・初めて会う先生は緊張する
- ・先生たちは生徒をバカにしているように感じる
- ・LINEで友達を傷つけてしまったことがあるから不安
- ・1年の頃は直接言ったり直接先生のLINEに連絡していた

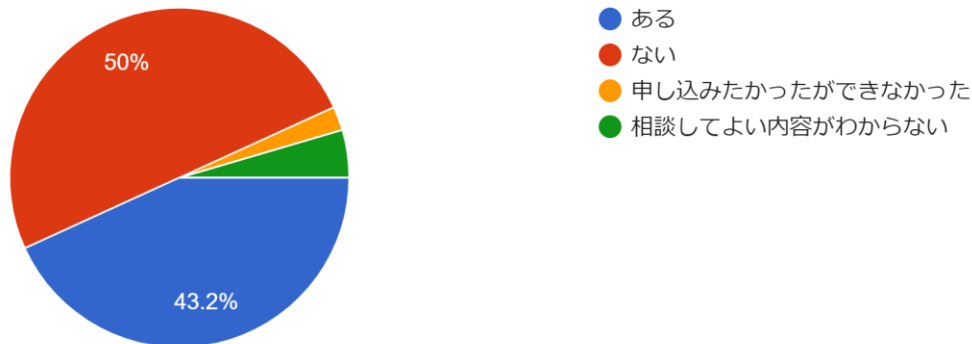
(2, 3年生聞き取りから)

- ・忙しい先生が多くて気を遣う
- ・どの先生が空いているのかわからない(2年女子)
- ・相談に行っているのかわからない(2年男子)
- ・男子は何を相談していいのかわからないとか、遠慮すると思う(3年男子)
- ・女子はいつも何を話しているのか疑問だった。今聞いて「そんなこと話していいんだ」という印象(3年男子)
- ・毎年ルールとか担任の先生によって対応が変わるのし分りにくい(2年男子)
- ・相談の先生がわからない(顔と名前も一致しない)(3年女子)
- ・中学までの「相談」認識は『緊急、重要なこと』を相談するイメージ(2年男子)
- ・相談の先生の顔と名前が一致しない。顔写真と名前とか情報があれば安心する(3年女子)
- ・相談のルールがあったのを(友人の話を聞いて)今知りました(3年男子)

【相談の申し込みに関する不安なこと】

- ・誰が相談のLINEを受けるか分からない不安がある
- ・情報が漏れる可能性があるのではないかと
- ・スクショなど会話の画像など内容が漏れる※LINE上で相談するものではありません
- ・申し込む人多そう？
- ・「誰でも相談していい」と聞いてたけどどんな先生がいるのかわからない

これまでに教育相談を申し込んだことがありますか(1年の全校面談は除きます)
44件の回答

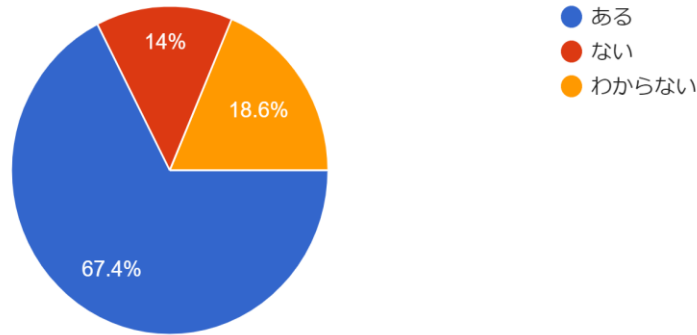


2. 誰もが相談しやすく学校で支える仕組みの検討

相談に関する生徒へのオンラインアンケート②

今後相談の申し込みが豊専公式LINEできたり、...たらあなたにとってメリットはあると思いますか。

43件の回答



教育相談申し込みをICT化することへの職員の声

- ・単なる手段であり目的は生徒のためになる「～できる」「よくなる」ための一助のツールであることが望ましい
- ・申し込みが多くなる懸念がある
- ・「相談」は直接話すコミュニケーションを大事にしていく
- ・生徒だけのものではなく、これができることにより、相談Co.から担任や保健室など支えやすい体制が期待できる
- ・他の機能も付加できるとなると全て「スマホ」になり、見る頻度が増えることへの懸念がある
- ・進路の活動において、今は企業や大学情報などITからの情報で動く時代である。在学中に本ツールで共に学ぶ機会にもなるかもしれない

【「教育相談ツール」をLINEでできるようになったらいいな、と思うこと】記述回答

- ・直接言わないで相談する時間等を設けられるのはみんなの心を少し軽く出来ると思う。
- ・こういうことを行ってメリットがなかったとしても、一生懸命学校が向き合う姿勢だと一人一人居心地のいいものになると思います
- ・LINEで相談が出来たらいいなと思う
- ・予約の確認ができる
- ・ありません。というか、LINEで相談はやらない方がいいと思います。
- ・相談の先生と連絡を取ることができる
- ・相談ができる時間(空いている時間)が分かればいいなと思います
- ・相談できる先生の顔や名前、いつ居るのかなど情報がみえるといいと思います
- ・学校の予定や色々な情報がLINEにあるといい。

2. 誰もが相談しやすく学校で支える仕組みの検討後の成果物(LINE公式アカウント)

相談申込フォーム

相談を受け付けます。下記をご記入ください。

クラス選択 **必須**
 選択して下さい

氏名 **必須**

相談希望曜日
 月曜日
 火曜日
 水曜日
 木曜日
 金曜日

相談希望時間帯
 1校時
 2校時
 3校時
 4校時
 5校時
 昼休み

4校時
 5校時
 昼休み
 放課後

相談内容 **必須**
 友達
 自分の事
 進路
 家族
 学校以外
 その他

送信する



生徒手帳

内容
 日課表
 学校のきまり
 校則
 年間行事予定表
 単位取得に関して
 など
 変化がない情報

生徒会

内容
 生徒会からの情報
 全校生徒や学年別など
 カテゴリ分けて
 アンケートも
 配信も可能
 生徒の声を集めやすくなり
 生徒会活動に反映され
 やすくなる

相談の申し込み

申し込みボタン→申し込み画面→教育相談Co.(予約完了)→生徒&担任&担当相談員&教科担任&監督者へLINE

お知らせ(新着情報)

LINE通知が入り上部のメッセージ画面に情報が出て「お知らせ」からも新着情報は閲覧可能(中身)変化のあるもの月歴、学校だより、補習のお知らせ、テスト情報

クラス別(チャット機能)

初期登録時にクラスと名前を登録
 →担任、管理職+生徒
 ルールの徹底

個人アカウント間のやり取り禁止

3. 卒業生の現況調査と 取り組み報告



3. 進学・就職定着サポートに向けた卒業生の現況調査のための取り組み

①

豊野高等専修学校
卒業生のみなさんへ
アンケートにお答えください!

あなたの声を聞かせてください
卒業生の皆さんがここで学んだ経験や今のご活躍をLINE公式サイトアンケートで在校生にお聞かせください。今後、学校の状況をお伝えしたり、皆さんの困った時に相談しやすい体制も整えたいと思っています。 **令和4年1月10日までにご回答ください**

ご本人に、この通知が届きますようにご家族様のご配慮、よろしくお願いします

アンケート回答手順

1. LINE公式アプリを起動
2. 許可する
3. 追加する+
4. トーク

LINE公式アプリ QRコード

学校法人豊野学園 豊野高等専修学校
〒389-1105 長野県豊野町豊野1344 ☎026-257-2127 豊野・山岸 親子（もみこ）
since 1947 75th

②

豊野高等専修学校 myfm.jp

現在のあなたのことを教えてください

氏名 **必須**

生年月日 **必須**
例: 1990年01月01日
1990 年 01 月 01 日

専門科目 **必須**
選択して下さい

お仕事の状況 **必須**
選択して下さい

豊野高等専修学校で学んで、または活動などで経験したことが「役立っている」と感じる、またはその場面を教えてください

【任意】

③

学校法人 豊野学園
豊野高等専修学校

公式LINE友達追加
特典動画
はこちら

豊野高等専修学校 Instagram

豊野高等専修学校 専門課程 Instagram

2020年卒業生メニュー

- 【方法】
- 2015年度～2020年度卒業生へお知らせを郵送
 - ①チラシ配布→QRコード読み取り
 - ②アカウントから情報を登録
 - ③卒業生メニュー(特典Instagram、学校情報の動画)

2015年度～2020年度卒業生
136名対象でアンケート実施

- 【調査結果】
- 1)調査対象者136名のうち(登録率)25名、18%の回答率
 - 2)無職の生徒の存在 8%
 - 3)アカウントへの要望の記述回答 30%
 - 4)学校の学びは「役立っている」記述回答 70%

- 【課題】
- 1)未回答・未登録者へのアプローチ方法の検討
 - 2)調査結果(卒業生ニーズ)を反映させるには
 - 3)卒業生を支える学校体制の具体的検討

4. 連携市(須坂市)と近隣市町村との



連携の取り組み

取り組み内容

【須坂市】

- 連絡協議会の開催
- 「須坂市子どもの学びのあり方を考えるシンポジウム」への参画
- 須坂市のPTA研修会に参加
- 産業振興部、健康福祉部とのつながり検討
- 須坂市内文化施設など資源活用検討と企画

【小布施町】

- 須坂市と本校の取り組みを知り、連携を希望。情報交換、学校・授業見学など実施

【長野市】

- 市長訪問、意見交換

【中学校へ意見交換のための訪問】

- 須坂市(全4校)・長野市(4校)
- 小布施町(全1校)

(ヒヤリング項目)

- ◇不登校生の状況
- ◇卒業後の様子
- ◇発達障がい傾向がみられる生徒の様子
- ◇ICT活用の状況
- ◇本校に対するニーズ

4. 須坂市との連携の取り組み～各分野からのニーズ抽出と具体的提案



思い・願い

須坂市教育委員会

【非認知能力】

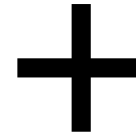
学びを子どもの成長に合わせる教育
非認知能力を高める教育の取り組み

提案

豊野高等専修学校の須坂市内認知の向上
PTAへの発信/印象の向上
不登校生への具体的支援
困り感ある生徒の支援協力

須坂市内 中学校

不登校の解消
学力向上
進路の自己選択と自己決定
～双方に収穫がある連携を～



企業・文化施設・就業先

地元出身者の就職受入
地域の独自性の発掘
武術間・博物館などの文化施設の活用

提案

実習等の受け入れ
授業の指導、講師
本校との更なる接点の模索
イベント企画



思い・願い

豊野高等専修学校

須坂市の不登校生のチカラになりたい
困り感ある保護者のチカラになりたい
職場体験実習先、就職先の確保
入学者の増

課題

職員の共通理解の機会
行事や企画に対する職員
や人員配置

連携できそうなこと(具体的提案)

産業振興・文化: 須坂市でのイベント企画に参加
企業: 卒業生の後追い調査、サポート
企業: カリキュラム検討の協力
企業: 進路に関わる特別講師
教育: 須坂市PTAに向けた本校の講演

取り組みの成果と 今後の課題

須坂市との連携

学校のあり方・運営検討

～学校運営の強化、組織力向上、学習環境整備～

学校のあり方

職場環境調査、エンゲージメント、取り組み実績からみえた課題

マネジメント研修

管理職の団結力向上
意識改革
行動変容

評価軸

実用度の高いものとするために
教育福祉と連携し
素案検討すすめていく

進路先の調査

卒業生の貴重な声が集まった

卒業生の 後追い調査

対象卒業生とつながることの難しさ
校内体制の検討

カリキュラム策定

各科目の課題整理
調査項目検討

誰もが相談しやすい ICTツール LINE

1. 在校生・教師用アカウント作成

2. 卒業生用アカウント作成

教育相談のしやすさ

- 1) 校内検討チームの発足
- 2) 教職員で検討・検証
- 3) ツールをLINEとしマーケティングを最適化する「Liny」を活用し公式アカウント制作できた

ご清聴ありがとうございました

